

教科	科目	学年	単位数
音楽		3年	1
使用教科書		副教材	
中学生の音楽 2・3下〔教育芸術社〕			

1. 学習目標

- 音楽を形づくっている要素などの働きについて実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞に生かすことができるようにすること。さらに、音楽に関する歴史や文化的意識を、表現や鑑賞の活動を通して、自分との関りの中で理解できるようにする。
- 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関りについて考えることにより、自分のイメージをもって音楽表現をしたり、音楽を評価したりしながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。
- 音楽活動を通して、音楽と人々の生活などとの関りに関心をもち、音楽が人々の暮らし、地域の風土、文化や歴史などの影響を受け、社会の変化や文化の発展とともに生まれ育ってきたことを感じ取る。

2. 評価の観点と方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着けている。 「観察」「ワークシート」「小テスト」により生徒のよさや成長の度合いを促し評価する。	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 知覚・感受の様子を「観察」「ワークシート」を用いて評価するが、「観察」「ワークシート」を同等に用いる場合と、「観察」が「ワークシート」の記述を補完する場合がある。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな感性を培っている。 活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組む様子を、題材を通じた継続的な「観察」と振り返りなどを記述したワークシートを同等に活用し評価する。

3. 学習内容 [右ページ参照]

4. その他[科目の特徴や学習の注意点など]

「音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりすること」「音楽と生活との関わりに関心をもって、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育むこと」を大切にす。知性だけでは捉えられないことを知性と感性を融合させながら捉えることを大切にする教科である。

	月	単元	授業内容	学習内容及びポイント
	4	曲種に応じた発	「早春賦」「帰れソレント	・「早春賦」「帰れソレントへ」の声の音色、言葉の特性
	5	声で、曲にふさわ	へ」	と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。

一 学 期	6	しい表現を工夫して歌おう 詩や曲に込められた思いを生かして、美しい日本歌曲を歌おう	「花」 (武島羽衣作詞、滝 廉太郎作曲)	・ 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体に使い方などの技能を身に付ける。 ・ 楽曲の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び背景との関わりを理解する。 ・ 楽曲のリズム、旋律、強弱を知覚しその特質を感じ取り、曲にふさわしい歌唱表現にするための思いや意図をもつ。
	7	My S o u l M u s i c をギターで弾き歌いしよう	「カノン進行のポップス作品」	・ ギターの音色や響き、リズムや和音と奏法との関わりを理解する。 ・ 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 ・ 奏法による音色や響きの違いを感じ取り表現する。
二 学 期	8 9	「荒城の月」の前奏を作ろう	「荒城の月」	・ 平調子及び平調子を構成する音のつながり方の特徴を理解する。 ・ 課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創意工夫を生かした表現で創作活動する。
	10	作曲者の思いを感じ取りながらオーケストラの響きを味わおう	連作交響詩わが祖国から「ブルタバ」	・ 楽曲の曲想と音楽の構造との関わり、音の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。 ・ 生活や社会における音楽の意味や役割について考え、「ブルタバ」のよさや美しさを聴く。
	11 12	音楽の多様性を理解し、様々な音楽のよさを味わおう	「Y o d e l」「O s o l e m i o」「O h H a p p y D a y」「アリラン」	・ 日本の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解する。 ・ 生活や社会における音楽の意味や音楽表現の共通性や固有性について考えるとともに伝統音楽に愛着をもち、諸外国の音楽文化を尊重し多様な音楽のよさを味わう。
三 学 期	1 2	能の鑑賞と謡を通して、能の魅力を知ろう	能「敦盛」	・ 能「敦盛」の音楽の特徴と声の音色や響き及び言葉の特性と謡の発声との関わり、背景となる室町文化や歴史、舞踊、演劇との関わりを理解する。 ・ 能にふさわしい歌唱表現を考え、当時や現代の生活や社会における能の意味や役割を考え、能「羽衣」のよさや美しさを味わって聴く。
	3	アリアの魅力	オペラ「フィガロの結婚」より「もう飛ぶまいぞこの蝶々」「恋とはどんなものかしら」	・ 2つのアリアの曲想と音楽の構造、音楽の特徴とその背景となる物語との関わりについて理解する。 ・ 2つのアリアの曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、よさや美しさを味わって聴くとともに、オペラ作品の親しむ態度を育む。

